

万博P&R利用料金

万博P&R利用料金は、万博P&R駐車場とP&Rシャトルバスの利用を合わせたもので、基本料金は 5,500円(乗車人数によらず自家用車1台当たりの料金)です

舞洲P&R

尼崎・堺P&R

6,500円			
②混雑時間帯※1	+ 500円	②混雑時間帯	+ 500円
①繁忙期※2	5,500円 + 500円	①繁忙期	+ 500円
①閑散期※2	▲ 500円	①閑散期	▲ 500円
③阪高中心部迂回※3	▲ 500円	③阪高中心部迂回(堺)	▲ 500円
4,500円			

※1 8～10時台のP&R駐車場・シャトルバスを予約した車両に適用

※2 期間限定

	閑散期(56日)	通常期(61日)	繁忙期(67日)
平日	4月～5月 7月～お盆	6月 お盆～9月	10月
土日祝	—	4月～5月 GW以外	6月～10月 GW・お盆

※3 阪高大和川線を利用(三宅西本線料金所のチェックポイントを通過)した車両に適用

※4 変動の上げ幅は、東京オリンピック首都高ロードプライシングの設定+1,000円を参考

※5 阪高指定出口を利用しない場合(一般道で来場)は、上記に1,000円を加算した料金を徴収

※6 障がい者等の利用料金は一般利用の半額とし、※5の加算料金は徴収しない

(出典) 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

「万博P&R利用料金」におけるダイナミックプライシング導入について
～万博P&R駐車場利用の手引き～ 〈阪神高速で一部加工〉



万博の開催に関する
阪神高速の取り組みの
ご紹介はこちらから

阪神高速
先進の道路サービスへ

阪神高速道路 2025大阪・関西万博 取り組み紹介③

大阪・関西万博 P&R利用料金 ～ダイナミックプライシングへの協力～

ダイナミックプライシングの概要

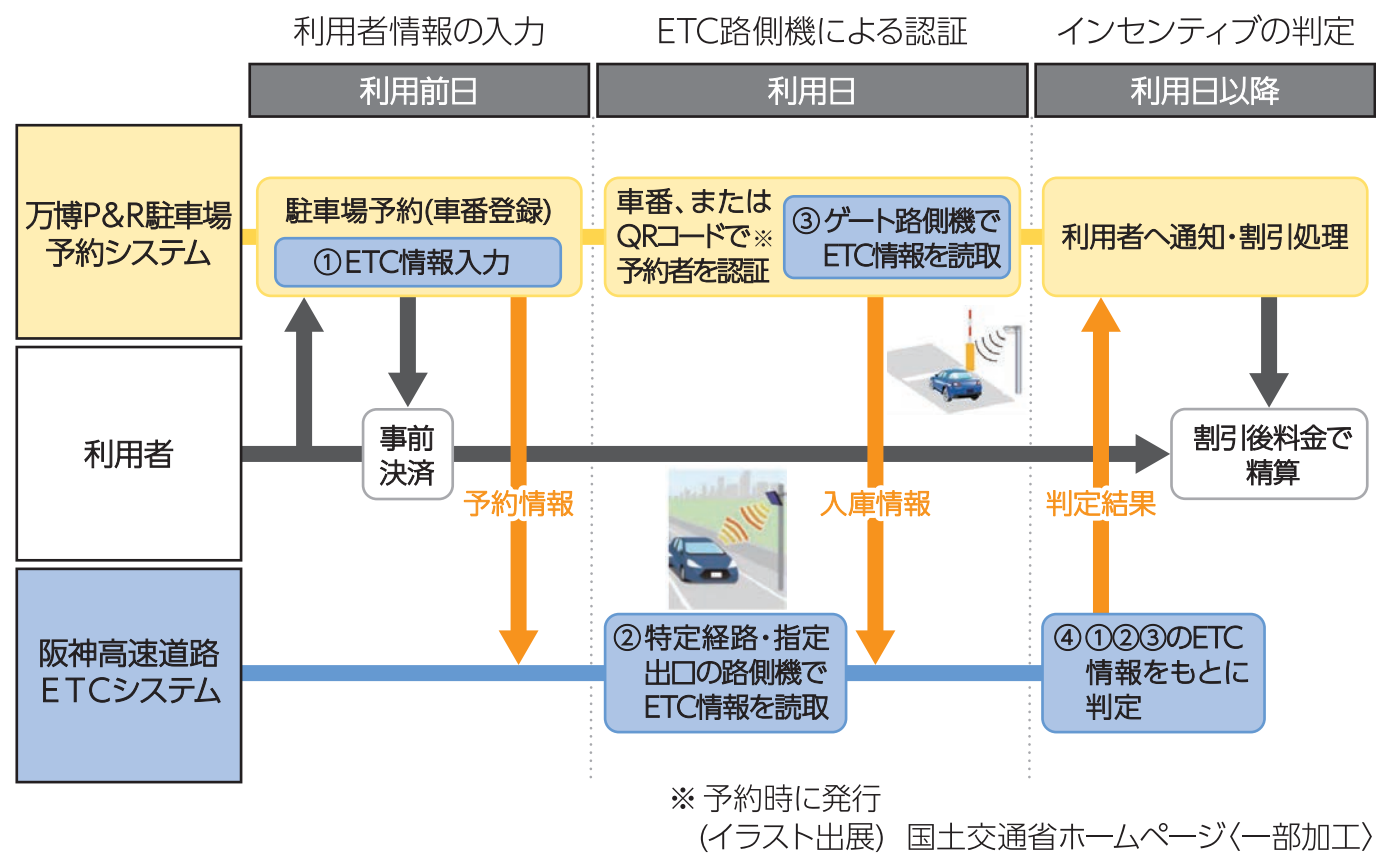
- 万博への来場は公共交通機関の利用が推奨され、自家用車ご利用時は、万博P&R駐車場からP&Rシャトルバスに乗り換えて来場することになります(万博会場への自家用車乗入禁止)
- 万博P&R利用料金を変動させることで、次の交通課題に対応します

	交通課題	万博P&R利用料金の変動内容
①	来場時期の平準化	繁忙期・閑散期の料金引上げ・引下げ
②	周辺道路の混雑時間帯の来場抑制	混雑時間帯の料金引上げ
③	阪神高速中心部の渋滞への影響軽減	迂回利用者の料金引下げ
④	万博P&R駐車場の分散利用	会場から遠いP&R駐車場(尼崎・堺)の料金引下げ
⑤	会場及びP&R駐車場周辺道路の影響	阪神高速の指定出口を利用しない場合は料金を別途加算



ETC情報を活用した判定(阪神高速の協力)

- 万博P&R利用料金のダイナミックプライシングにおいて、インセンティブの一つとなる阪神高速の指定出口及び迂回利用の判定には、ETCによるモビリティ認証技術を活用します(日本初の取り組み)
- 判定は、駐車場予約時に登録いただくETC情報と、阪神高速道路及び万博P&R駐車場を利用時のETC情報を照合して行います



阪神高速(特定経路・指定出口)を利用して万博P&R駐車場に入庫した車両の通行履歴をネットワーク型ETCによるモビリティ認証技術を活用して判定



ダイナミックプライシングの想定効果

〈阪神高速中心部〉万博交通による渋滞長延伸量

13号東大阪線 + 約3.0km → +約2.0km (最大 約30%減少)
 11号池田線 + 約1.2km → +約0.3km (最大 約75%減少)

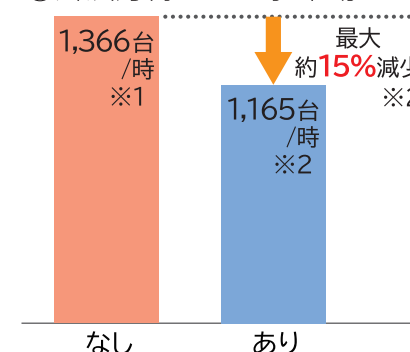
〈万博会場周辺〉舞洲万博P&R駐車場 ピーク時需要量

1,366台/時 → 1,165台/時 (最大約15%減少)



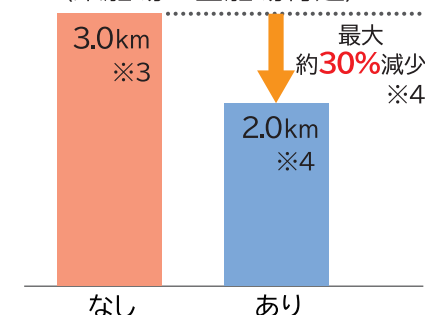
ピーク時需要の平準化

①舞洲万博P & R 駐車場

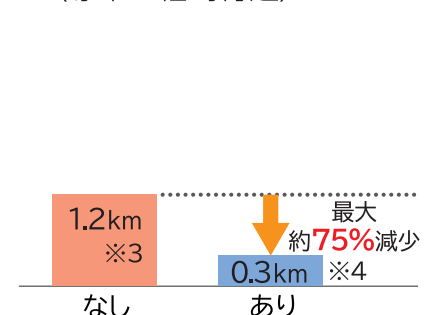


来場需要による渋滞長延伸量の減

②阪神高速13号東大阪線 〈東船場→西船場付近〉



③阪神高速11号池田線 〈塚本→福島付近〉



- ※1 来場方法、繁忙期(10月)、平日、ピーク時間帯(入庫9時台)
 ※2 料金弾性値を一律0.4とした場合の推計値(0.3ケースでは1,216台/時)
 ※3 来場方向、繁忙期(10月)、平日、ピーク時間帯(8時台)
 ※4 料金弾性値を一律0.4とした場合の推計値(0.3ケースでは②2.2km、③0.5km)

(出典) 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
 「万博P&R利用料金」におけるダイナミックプライシング導入について
 ~万博P&R駐車場利用の手引き~ 〈阪神高速で一部加工〉